

● 図書館を利用するあらゆる人のニーズに応えるために ●

図書館のためのバリアフリー資料目録

大活字本・オーディオブックを中心に

野口 武悟 監修

A5・430頁 定価17,600円(本体16,000円+税10%) ISBN978-4-8169-2909-0 2022年2月刊行

市販されているバリアフリー資料をトータルに把握できるガイド

- 大活字本、オーディオブック、朗読CD、さわる絵本、点字の本など障害を持つ人に役立つ資料を収録した図書目録です。
- 2000年以降に刊行・発売され、市場に流通している資料を中心に5,146点の情報を収録。障害者手帳を所持する人だけでなく、老眼や弱視など、一般的な「読み」が困難な人に向けた図書も収録しています。
- 「制作・発売元別一覧」付き。

…各図書館におけるバリアフリー資料の整備と充実に際してのガイドとして本書が利用されることを期待している。また、本書が、図書館だけでなく障害者施設や高齢者施設などのさまざまな生活場面における読書バリアフリーの一層の推進にも資することができるのであれば、幸いである。
(“解説”より)

【分類一覧】

大活字本(大きな文字の本)
オーディオブック・朗読CD
点字の本
バリアフリー絵本
やさしく読める本
「手話」を添えた資料
バリアフリーに関する資料

■ 監修者プロフィール ■

野口 武悟 のぐち・たけのり

専修大学文学部教授、放送大学客員教授。図書館の障害者サービスや読書のバリアフリー、子どもの読書などを研究している。千代田区図書館協議会会長、小田原市図書館協議会委員長、横浜市社会教育委員会副議長なども務める。主な著書に『改訂 図書館のアクセシビリティ:「合理的配慮」の提供へ向けて』(2021 樹村房)、『多様なニーズによりそう学校図書館:特別支援学校の合理的配慮を例に』(2019 少年写真新聞社)など。

■ 既刊

図書館サービスの可能性

—利用に障害のある人々へのサービス その動向と分析

小林卓・野口武悟 共編


A5・230頁 定価4,180円(本体3,800円+税10%)
ISBN978-4-8169-2351-7 2012.1刊

2022.1

お問い合わせは… 日外アソシエーツ 営業局

TEL.03-3763-5241(代) FAX.03-3764-0845

〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 <https://www.nichigai.co.jp/>

■ 貴店名	注文書	図書館のためのバリアフリー資料目録 —大活字本・オーディオブックを中心に 定価17,600円(本体16,000円+税10%) ISBN978-4-8169-2909-0	冊
		 9784816929090	

大活字本（大きな文字の本）

大活字本は、文字のサイズを大きくし、視覚障害者等や高齢者が読みやすいように配慮して作られた出版物のこと。実際には、文字のサイズだけでなく、字体（フォント）や行間の幅などにも読みやすいに配慮した工夫がなされている。本書には市販の大活字本を掲載している。なお、著作権法の規定に基づいて、図書館で視覚障害者等のために手作りで文字を拡大した資料を複製（製作）することもある。こうした資料のことを拡大写本という。大活字本と拡大写本をあわせて拡大文字資料あるいは拡大資料という。

思想・哲学・心理学

「アフォーダンス入門 知性はどこに生まれるか」大文字版 講談社 2008.3（講談社学術文庫 1863）800円 15cm 237p
① 978-4-06-159863-8

「心—いかに生きたらいいか」高田好胤 埼玉福祉会（大活字本シリーズ）2001.1 3600円 22cm 393p 〈一般注記：原本：徳間文庫〉
① 4-88419-049-1

「送り火 上」重松清著 埼玉福祉会（大活字本シリーズ）2008.11 3300円 21cm 405p
〈一般注記：底本：文春文庫「送り火」〉
978-4-88419-543-4

「窓」フジミ荘奇譚、ハードラック・ウーマン、かげぜん、漂流記、よーそろ

「送り火 下」重松清著 埼玉福祉会（大活字

文 学

《重松清》

「小さき者へ 上」（大活字本シリーズ）2011.1 378p 〈一般注記：底本「小さき者へ」〉 978-4-88419-544-1
「窓」海まで、フィッチ

「小さき者へ 下」（大活字本シリーズ）2011.1 378p 〈一般注記：底本「小さき者へ」〉 978-4-88419-544-1
「窓」国旗はためく下、月行進曲

「その日のまえに 1」（大活字本シリーズ）2011.1 378p 活字（大活字本）10

オーディオブック

印刷された本が中身（文字情報）を視覚的に受容（読む）する媒体であるとするならば、オーディオブックや朗読CDは中身（音声情報）を聴覚的に受容（読む）する媒体といえる。アメリカやドイツなど以前からオーディオブックが定着している国々もあるが、日本ではあまり普及してこなかった。最近になって、日本でも「日本オーディオブック協議会」が発足（2015年）するなど、普及を目指す動きが活発になってきている。本書には、市販のオーディオブックや朗読CDを掲載しているが、これらは読者対象を視覚障害者等や高齢者に限定するものではないので、誰でも利用することができる。なお、図書館では、著作権法の規定に基づいて、視覚障害者等のために音訳者が録音資料を複製（製作、媒体変換）している。これは、前述のオーディオブックや朗読CDとは別個のものである。

こころ・健康

「悩めるからだ—貴女のココロとカラダの SOS がわかる本」山口一美著 Pan Rolling 2009（録音ディスク5枚（307分）：CD 2415円 ① 978-4-7759-2876-9（耳で聴く本オーディオブックCD）

「心—いかに生きたらいいか」高田好胤 埼玉福祉会（大活字本シリーズ）2001.1 3600円 22cm 393p 〈一般注記：原本：徳間文庫〉 4-88419-049-1

「今をしあわせに生きるための愛のエコトバ」Chie画・文 ナチュラルスピリット 2014.9 1480円 18cm 127p 〈付属資料：CD 1〉

「窓」連綿とつながる命、今ある奇跡に気づく

日本文学

◆怪 談

「ひとり怪談—ファンキー中村の怪奇独話」ファンキー中村【語り】 Pan Rolling 2010 3300円 録音ディスク4枚（228分）：CD ① 978-4-7759-2375-7

「窓」DISC1〈第1話〉北の街にて〈第2話〉入ってくるモノ〈第3話〉事故〈第4話〉銀のアメ車〈第5話〉おいらんの川、DISC2〈第6話〉開けずの魔〈第7話〉ふすま〈第8話〉上から見る〈第9話〉第三世代携帯〈第10話〉故人タクシー〈第11話〉踏み切りで、DISC3〈第12話〉虫の声と幽霊屋敷〈第13話〉温泉の怪〈第14話〉ゲーム機、DISC4〈第15話〉頭骨の授業〈第16話〉置屋の宴〈第17話〉いねむりの結果〈第18話〉蟹